2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月９日

上場会社名　　兼房株式会社　　上場取引所　　東 名
コード番号　　5984　　ＵＲＬ　https://www.kanefusa.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役 社長執行役員　　（氏名）磯谷　岳摩
問合せ先責任者　（役職名）取締役 常務執行役員　　（氏名）佐築　賢治　　ＴＥＬ　0587-95-2821
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	11,632	19.0	632	45.3	648	56.5	397	32.6
2026年３月期中間期	9,777	△2.9	435	10.3	414	181.4	299	659.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,188百万円（－%）　2026年３月期中間期　△853百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	28.60	－
2026年３月期中間期	21.57	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	39,556	32,270	81.6
2026年３月期	38,403	31,339	81.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　32,270百万円　2026年３月期　31,339百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	7.50	－	18.50	26.00
2027年３月期	－	7.50			
2027年３月期（予想）			－	15.50	23.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.0	1,100	0.8	1,100	△18.2	900	△12.8	64.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
　　（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,310,000株	2026年３月期	14,310,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	410,082株	2026年３月期	410,042株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	13,899,919株	2026年３月期中間期	13,900,034株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国を中心とした底堅い個人消費やAI関連投資の継続に支えられ、緩やかな成長基調で推移した一方で、中国経済の回復の遅れや地政学的リスクなど、先行き不透明な状況が続きました。わが国経済においては、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな回復傾向を示したものの、物価上昇や人件費の増加、エネルギー価格の変動などの影響を受け、景気は力強さを欠く状況です。

このような状況のもと、当社グループは生産性の向上、成長市場への販売拡大や高付加価値製品の拡販を推進し、戦略的な製品開発・生産・営業活動を展開しました。国内における売上は、住宅関連刃物・非住宅関連刃物ともに販売を拡大したことにより前年同期から増加し、海外での売上についても、米国向けを中心に増加し、当中間連結会計期間の売上高は116億３千２百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

利益面につきましては、原材料価格等のコスト増加要因があったものの、売上増加による操業度改善効果や為替の影響などにより、営業利益は６億３千２百万円（前年同期比45.3%増）となりました。また、営業外費用として為替差損５千万円を計上したものの、営業外収益として受取利息を４千６百万円、受取配当金を１千７百万円計上したことから、経常利益は６億４千８百万円（前年同期比56.5%増）となりました。この結果、親会社株主に帰属する中間純利益は３億９千７百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

海外向けでは自動車関連刃物および木工関連刃物が増加し、国内向けでは住宅関連刃物が増加したことから、売上高は89億４千８百万円（前年同期比18.3%増）、操業度改善効果や為替の影響などにより営業利益は３億７千９百万円（前年同期比321.4%増）となりました。

② インドネシア

製紙関連刃物および木工関連刃物などが増加し、売上高は20億３千２百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は１億５千５百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

③ 米国

自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は14億２千９百万円（前年同期比30.7%増）となりましたが、グループ間の仕入価格上昇などにより、営業利益は３千２百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

④ 欧州

木工関連刃物が増加したことから、売上高は11億９千４百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は２千９百万円（前年同期比159.6%増）となりました。

⑤ 中国

木工関連刃物および紙工関連刃物が増加したことから、売上高は10億９百万円（前年同期比21.6%増）となりましたが、原価率の高い製品群の売上が増加したことや人件費の増加などにより、営業損益は１千万円の営業損失（前年同期は１千５百万円の営業利益）となりました。

⑥ ブラジル

鋼管関連刃物および製紙関連刃物が増加したことから、売上高は４億８千７百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は３百万円（前年同期は１百万円の営業損失）となりました。

⑦ ベトナム

紙工関連刃物や木工関連刃物が増加したことから、売上高は７億８千６百万円（前年同期比25.2%増）、営業利益は２千５百万円（前年同期比127.6%増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間期末における流動資産は218億５千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億２千５百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が６億８千８百万円増加、仕掛品が２億６千２百万円増加、受取手形及び売掛金が２億１千９百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は176億９千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ７千２百万円減少いたしました。これは有形固定資産が前連結会計年度末に比べ１億円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は395億５千６百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億５千３百万円増加いたしました。

（負債）

当中間期末における流動負債は33億１千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億６千１百万円増加いたしました。これは主に買掛金が１億５千７百万円増加し、電子記録債務が１億２千５百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は39億７千１百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億３千９百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が１億１千８百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は72億８千５百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億２千１百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間期末における純資産合計は322億７千万円となり、前連結会計年度末に比べ９億３千１百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が７億８千２百万円増加し、利益剰余金が１億４千万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.6％（前連結会計年度末は81.6％）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ１千万円増加し、当中間期末には78億９千６百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は７億円（前年同期比27.9％減）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費８億９千１百万円、税金等調整前中間純利益６億４千２百万円であります。支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額６億４千７百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は４億３千５百万円（前年同期比30.9％減）となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出４億２千７百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は３億９千１百万円（前年同期比7.2％増）となりました。これは、主として配当金の支払額２億５千７百万円、長期借入金の返済による支出１億７百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年５月12日「2026年３月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,885,619	7,896,488
受取手形及び売掛金	3,284,790	3,504,248
電子記録債権	649,368	813,835
商品及び製品	3,945,423	3,811,738
仕掛品	1,215,981	1,478,439
原材料及び貯蔵品	3,078,700	3,766,856
その他	590,401	599,857
貸倒引当金	△16,577	△12,256
流動資産合計	20,633,710	21,859,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,329,751	6,242,450
機械装置及び運搬具（純額）	5,219,785	5,759,095
その他（純額）	4,533,376	3,980,659
有形固定資産合計	16,082,914	15,982,205
無形固定資産	68,224	59,390
投資その他の資産	1,618,594	1,655,698
固定資産合計	17,769,733	17,697,294
資産合計	38,403,443	39,556,501

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	970,153	1,127,635
電子記録債務	170,212	295,312
１年内返済予定の長期借入金	213,215	209,841
未払法人税等	42,904	139,960
賞与引当金	412,925	385,687
その他	1,143,757	1,156,450
流動負債合計	2,953,168	3,314,888
固定負債		
長期借入金	2,852,544	2,734,132
退職給付に係る負債	188,847	132,066
資産除去債務	432,260	451,013
その他	637,378	653,869
固定負債合計	4,111,031	3,971,081
負債合計	7,064,200	7,285,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	23,388,071	23,528,495
自己株式	△208,993	△209,023
株主資本合計	27,489,468	27,629,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	323,389	357,087
為替換算調整勘定	3,281,950	4,064,459
退職給付に係る調整累計額	244,436	219,122
その他の包括利益累計額合計	3,849,775	4,640,669
純資産合計	31,339,243	32,270,531
負債純資産合計	38,403,443	39,556,501

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	9,777,380	11,632,704
売上原価	6,839,615	8,306,933
売上総利益	2,937,765	3,325,770
販売費及び一般管理費	2,502,566	2,693,401
営業利益	435,198	632,369
営業外収益		
受取利息	34,584	46,706
受取配当金	13,423	17,322
デリバティブ評価益	－	18,778
その他	11,153	14,540
営業外収益合計	59,161	97,348
営業外費用		
支払利息	33,337	27,204
為替差損	43,941	50,515
デリバティブ評価損	2,303	－
その他	317	3,179
営業外費用合計	79,899	80,899
経常利益	414,460	648,818
特別利益		
固定資産売却益	2,169	2,625
特別利益合計	2,169	2,625
特別損失		
固定資産売却損	433	－
固定資産除却損	9,230	8,864
特別損失合計	9,664	8,864
税金等調整前中間純利益	406,964	642,579
法人税等	107,196	245,005
中間純利益	299,768	397,573
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	299,768	397,573

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	299,768	397,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,012	33,698
為替換算調整勘定	△1,164,847	782,509
退職給付に係る調整額	9,425	△25,313
その他の包括利益合計	△1,153,409	790,893
中間包括利益	△853,640	1,188,467
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△853,640	1,188,467
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	406,964	642,579
減価償却費	838,749	891,763
賞与引当金の増減額（△は減少）	△24,313	△31,063
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,952	△5,009
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	15,753	△65,345
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△24,942	△35,556
受取利息及び受取配当金	△48,007	△64,028
支払利息	33,337	27,204
為替差損益（△は益）	△45,820	47,653
固定資産売却損益（△は益）	△1,735	△2,625
売上債権の増減額（△は増加）	3,644	△306,660
棚卸資産の増減額（△は増加）	△102,338	△647,772
仕入債務の増減額（△は減少）	275,883	295,151
未払又は未収消費税等の増減額	26,646	△76,682
その他	△63,088	53,433
小計	1,295,683	723,040
利息及び配当金の受取額	48,007	64,028
利息の支払額	△33,571	△29,484
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△339,430	△57,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	970,689	700,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△615,029	△427,925
有形固定資産の売却による収入	6,192	9,427
有形固定資産の除却による支出	－	△4,259
無形固定資産の取得による支出	△9,501	△1,414
投資有価証券の取得による支出	△9,000	△12,559
投資有価証券の売却による収入	1,800	－
貸付けによる支出	△5,850	－
貸付金の回収による収入	1,116	1,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△630,273	△435,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△99,353	△107,354
リース債務の返済による支出	△22,208	△26,760
自己株式の取得による支出	△54	△30
配当金の支払額	△243,250	△257,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,866	△391,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155,608	137,022
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△180,057	10,868
現金及び現金同等物の期首残高	8,061,031	7,885,619
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,880,974	7,896,488

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント							
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	2,050,752	1,153,204	148,459	338,055	344,164	116,157	37,288	4,188,081
精密刃具類	1,707,433	67,069	82,322	29,074	11,489	670	3,919	1,901,980
丸鋸類	3,503,851	505,942	834,992	702,182	463,731	252,594	586,912	6,850,207
商品他	301,607	36,114	27,869	3,328	10,661	7,591	415	387,587
顧客との契約から生じる収益	7,563,645	1,762,330	1,093,644	1,072,640	830,046	377,013	628,535	13,327,857
外部顧客への売上高	5,254,494	974,936	1,093,617	1,071,976	396,507	377,013	67,343	9,235,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,309,151	787,394	26	664	433,538	－	561,191	4,091,967
計	7,563,645	1,762,330	1,093,644	1,072,640	830,046	377,013	628,535	13,327,857
セグメント利益又は損失(△)	89,934	131,482	36,869	11,551	15,686	△1,089	11,131	295,567

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
平刃類	43,017	4,231,099	△990,980	3,240,118
精密刃具類	31,271	1,933,252	△135,345	1,797,906
丸鋸類	456,815	7,307,023	△2,711,442	4,595,581
商品他	10,474	398,062	△254,288	143,773
顧客との契約から生じる収益	541,580	13,869,437	△4,092,057	9,777,380
外部顧客への売上高	541,490	9,777,380	－	9,777,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	4,092,057	△4,092,057	－
計	541,580	13,869,437	△4,092,057	9,777,380
セグメント利益又は損失(△)	9,839	305,406	129,791	435,198

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額129,791千円には、セグメント間取引消去65,450千円、棚卸資産の調整額66,215千円、その他△1,874千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント							
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	2,296,089	1,397,581	193,449	407,013	441,592	170,715	119,255	5,025,697
精密刃具類	1,966,568	78,859	135,469	50,447	16,022	321	6,470	2,254,159
丸鋸類	4,220,353	513,745	1,075,958	732,870	537,499	308,728	660,714	8,049,869
商品他	465,490	42,419	24,831	3,688	14,349	8,158	463	559,400
顧客との契約から生じる収益	8,948,500	2,032,606	1,429,708	1,194,019	1,009,464	487,923	786,904	15,889,127
外部顧客への売上高	6,033,146	1,262,761	1,429,708	1,193,203	555,309	487,923	59,838	11,021,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,915,354	769,844	－	816	454,155	－	727,065	4,867,236
計	8,948,500	2,032,606	1,429,708	1,194,019	1,009,464	487,923	786,904	15,889,127
セグメント利益又は損失(△)	379,018	155,423	32,921	29,992	△10,241	3,007	25,338	615,460

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
平刃類	66,897	5,092,595	△1,206,172	3,886,422
精密刃具類	43,849	2,298,009	△131,708	2,166,300
丸鋸類	492,373	8,542,242	△3,114,264	5,427,978
商品他	7,693	567,093	△415,091	152,002
顧客との契約から生じる収益	610,813	16,499,940	△4,867,236	11,632,704
外部顧客への売上高	610,813	11,632,704	－	11,632,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	4,867,236	△4,867,236	－
計	610,813	16,499,940	△4,867,236	11,632,704
セグメント利益又は損失(△)	△2,372	613,088	19,280	632,369

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額19,280千円には、セグメント間取引消去54,998千円、棚卸資産の調整額△2,451千円、その他△33,266千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。